

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-68425

(P2006-68425A)

(43) 公開日 平成18年3月16日(2006.3.16)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)  
 A 6 1 B 5/08 (2006.01) A 6 1 B 5/08 4 C 0 3 8

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2004-258288 (P2004-258288)	(71) 出願人	596175201 株式会社環境測定サービス 茨城県水戸市石川4丁目3896-3
(22) 出願日	平成16年9月6日(2004.9.6)	(71) 出願人	000004097 日本原子力研究所 千葉県柏市末広町14番1号
		(74) 代理人	100069981 弁理士 吉田 精孝
		(74) 代理人	100087860 弁理士 長内 行雄
		(72) 発明者	黒羽 徹 茨城県水戸市石川4丁目3896-3 株式会社環境測定サービス内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 呼気捕集具

(57) 【要約】

【課題】 肺胞空気を簡単な操作でかつ確実に捕集できる呼気捕集具を提供する。

【解決手段】 被検者から呼気を捕集するとき、まず、呼気導入部11の挟み部113を片方の手指で挟み第2逆止弁13への空気流通を規制する。次いで、被検者は呼気導入部11に空気を吐き出す。この吐き出し空気は第1逆止弁12を通り第1呼気捕集部14に捕集される。この第1呼気捕集部14の捕集操作をしばらく継続し、口や気管上部の空気を吐き出し終わったときは、挟み部113から手指を外す。その後継続して吐き出される空気は、第1逆止弁12を通ることなく第2逆止弁13側に流れる。これにより、吐き出し空気のうち、あとの空気（肺胞の空気）が第2呼気捕集部15に捕集される。

【選択図】 図1

